

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

春ニシン好漁

常呂・佐呂間・湧別の各漁協では海開けからのオホーツク海のニシン刺網漁が好漁でした。

6月末時点で3漁協のニシン漁獲量は569トン、漁獲高は8,100万円となっております。これは、昨年の漁獲量127トン、漁獲高2,100万円に対しそれぞれ約4倍になります。各漁協では春からの好漁に今年の豊漁が期待されます。



ホタテ稚貝放流

常呂・佐呂間・湧別の各漁業協同組合は、前浜を畑のように4つに区切り、1年ごとに海区をずらしながら、4年周期でホタテ成貝の漁獲とホタテ稚貝の放流を繰り返す「四輪採制」でホタテ漁業を行っております。

今年のホタテ稚貝放流は5月15日から始まり、最終24日まで行われ、3漁協全体で約6億5千万粒の稚貝がオホーツク海に放流されました。

この稚貝は、昨年の産卵時期(6月)に母貝が産卵した幼生を採苗袋に付着させ、その後ホタテの成長にあわせ養殖籠の入れ替え作業を行い、今春4cm程度までに成長したものです。



今年は、サロマ湖第2湖口周辺の漂砂堆積の影響により、常呂漁協の外海放流作業船が第2湖口からオホーツク海へ出航することができないため、湧別側の第1湖口を通航し迂回する形で常呂前浜の海域へ航行して稚貝放流を行いました。

【写真】
第1湖口を通航する「とこ丸」



◆ 森から海へ。植樹運動

「豊かな森づくりが、豊かな海づくりに繋がる。山は恋人、川は仲人。」と喩えがあるように、森から川を通じてサロマ湖やオホーツク海に様々な栄養分が供給されています。植樹は、サロマ湖やオホーツク海を良好な漁場環境にするものとして、毎年、常呂・佐呂間・湧別の各漁協が植樹運動を実施しております。

今年は、6月3日に常呂漁業協同組合100周年記念植樹祭を行ったほか、6日に佐呂間漁協が、13日には湧別漁協がそれぞれ植樹祭を行いました。

これらの参加者総数は471名で、ミズナラなど合計2,000本を植樹しました。



◆ サロマ湖ゴミ0運動

漁業生産活動の拠点「天恵の湖」サロマ湖の湖岸周辺的环境保全を図ることを目的に、平成15年度より実施しております。

今年は6月16日に開催され、常呂・佐呂間・湧別の各漁業協同組合の組合員、女性・青年部、職員、そして、市・町職員を含めた総数856名が参加して、約19トンのゴミを収集しました。



◆ 湧別フェア開催！

湧別漁協は、湧別産の海の味覚を提供する「湧別フェア」を、5月9・10日にラフィラ札幌地下1階のイトーヨーカドーすすきの店で開催しました。

オホーツク湧別産の生うに、生ほたて、ほっき貝など、安くて新鮮な魚介類を地元の漁師さんが威勢良く販売するイベントとして人気があり、来店した買物客からは「漁師の方が販売するのでとても新鮮で、安心して買えます。」と大好評でした。



発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2012.7.31

編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当

〒099-6404 湧別町栄町112番地の1

湧別町総合支所産業振興課水産林務係

Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283

Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

